建造物登録
有形文化財
登録記念

柔道部OB・OG座談会
柔道場の思い出
YAWARA！朝日に〝やわらちゃん〟がたくさんいた時代

女子部員が数多く在籍し、中国大会やインターハイに出場するなど華々しい成績をおさめた平成初期の柔道部。
平成元年から平成6年までに柔道部に所属した部員のうち、男子4名、女子7名のみなさんと顧問だった屯倉（みやけ）先生に、懐かしの柔道場で思い出を語っていただきました。
約20年ぶりの再会に、思わず涙ぐむOGの姿もありました。

○出席者
屯倉紀正先生（昭和63年～平成13年在職）
柔道部OB・OG
難波慶弘さん、藤原雄一朗さん、南大亮さん、山田恒一郎さん
野崎こころさん、坂田幸恵さん、谷内由香さん、時信亜希子さん、
土田容子さん、中司士成子さん、浪尾美智子さん
司会：吉田清司（広報委員 昭和62卒）

司会：初めまして。私も柔道部OBです。本日司会を務めさせていただきます。よろしくお願いします。まず、柔道を始めたきっかけを教えてください。

南：本当は格闘技をやりたくて空手部を覗いたんですが、本当に活動しているのかなと…その点柔道部は柔道場があったので…

男性二人：中学校からやっていたので、高校でも入りました。

時信：友達と鬼ごっこをしていて、この柔道場に迷い込んで…そのまま柔道部に入ったんです。（一同笑）

野崎：中学はバスケットをしていました。最初入部した時は友達と3人一緒でしたが、そのうち一人二人と辞めていき、気がついたら私一人になりました。1年間女子一人でした。女子一人で何をしていいかわからず…最初は洗濯や掃除などマネージャーみたいなこともしていました。2年生になって同級生と部活紹介から後輩が入ってきて賑やかになりました。

坂田：私は2年で野崎さんと同じクラスになって、それで柔道部に入りました。縁ですね。

司会：当時はちょうどやわらちゃん世代ですよね。

谷内：私はやわらちゃんの影響です。漫画も本物のやわらちゃんにも影響を受けて、武道がしたいなと思っていました。

土田：私は、実は卓球部と掛け持ちで、高校3年まで卓球の試合も出ていました。卓球部の先輩が引退して一人でやっていたのですが、部活動なのに仲間がいないのはつらいと思い、5～6月頃に部活動巡りをしたら、柔道場で受けの練習をされていた先輩が「見学に来たの？」と優しく声をかけてくれたのです。コミュニティが出来あがっているような部は「何しに来ているの？」という感じだったのですが、柔道部は私を温かく迎えてくれそうな気がしました。

浪尾：私は中学ではバスケットをしていましたが、思うように背が伸びず、幼なじみが誘ってくれて、またちょっと興味もあったので柔道を選びました。

司会：自分のころは女子がいなくて男子10人ぐらいでやっていたもので、女子がいるのがどういう雰囲気かわからないのですが、一緒に乱取りとかするんですか。

野崎：してましたよね。

屯倉：分けてはしなかったよ。男も女も全部一緒にやっていた。

司会：更衣室はどうしてたのですか。

屯倉：体育館で着替えて来ていた。

女子一同：いいえ！先生の部屋を空けていただきましたよ。気を利かせてちょっと出ていただいて…

屯倉：ああ、そうだったなあ！

司会：いいなあ。僕の世代は男ばかりだったから、先輩にしごかれましたよ。

男子：我々の世代は、先輩からしごかれていないな。（一同笑）

司会：柔道場の当時のイメージとか思い出は？

難波：在校当時、柔道場は広いというイメージを持っていました。

全員：普通の畳ではなく、白いマットにびっくりしました。

時信：足がよく畳に挟まった記憶がありますね。

山田：合宿中に捻挫して、先輩の整骨院にいったら「捻挫くらいで来るな」と言われました。（笑）

男子：先輩から、柔道場が倒れないように横からつっかえ棒をしていると聞いていました。よく倒れないでもっているなと思っていました。

屯倉：あれはつっかえ棒じゃなかろう。（笑）六高の先輩が来られる際に、柔道部OBの集まりである六華会（りっかかい）というのがあって、その時は必ずこの柔道場を使っていた。いくらか寄附をいただいて、床のバネに木を挟んでいたのを元に戻したと聞いている。

司会：確かに他校に練習に行ったときとは全然違いますね。他はとにかく痛い。特に武道館。

屯倉：戦後、学校柔道が出来るように